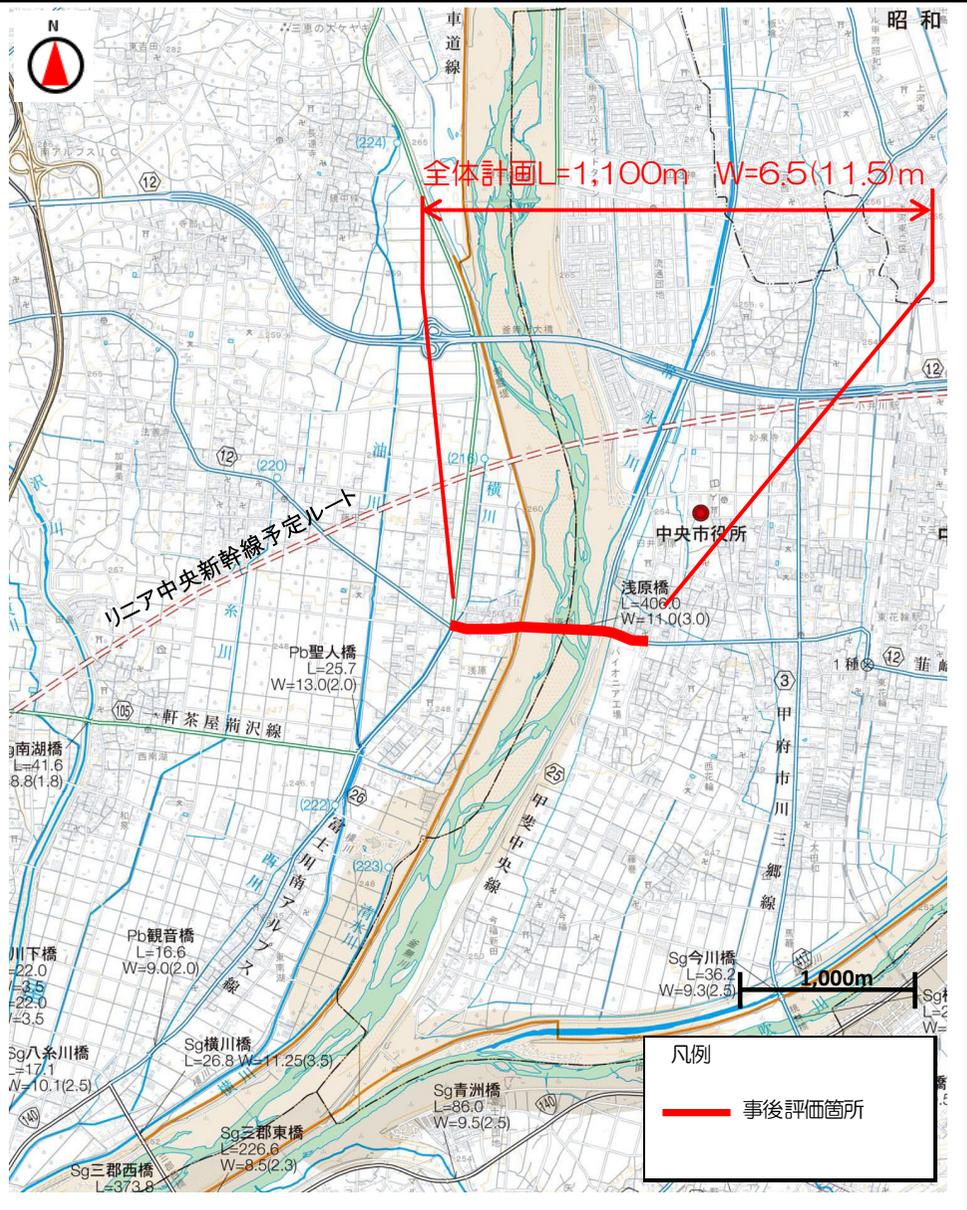


令和6年度 公共事業事後評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補**・**県単**

事業名	道路事業 [緊急道路整備改築事業 (国補)] [地域振興県道整備事業 (県単)]		事業箇所	南アルプス市浅原～ 中央市臼井阿原		地区名	(主) 韮崎南アルプス中央線 (浅原橋)		事業主体	山梨県	
(1) 事業着手年度		H18年度		(2) 事業期間		H18年度～令和元年度		(3) 完了後経過年数		5年	
(4) 総事業費		5,386 百万円									
(5) 事業着手時点の課題・背景						(8) 事業位置図等					
<p>南アルプス市浅原と中央市西花輪を連絡する浅原橋は、昭和25年から昭和37年にかけて架橋されて以降、甲府都市圏域南部の交通の要衝となっているが、老朽化が進行しており、昭和51年から平成10年には補強補修工事を、平成11年度に護床工事を行うなど、様々な補修を実施してきた。</p> <p>事業着手時点では、下部工の傾斜や沈下、ケーソン柱頭部の露出が確認されるなど、著しく不安定な状況となっており、早急に架け替えの必要が生じていた。</p>											
(6) 事業着手時点で想定した整備目標・効果											
<input type="checkbox"/> 主要目標 ○災害に強い道路の確保 (目的：老朽橋の架け替え)											
<input type="checkbox"/> 副次目標 ○生活圏中心都市・拠点機能へのアクセス向上 (目的：南アルプス市～甲府市のアクセス向上)											
<input type="checkbox"/> 副次効果 ○アクセス機能の維持 ○主要渋滞ポイントの解消											
(7) 整備内容 (目標達成の方法)											
<p>浅原橋架替えを含む延長L=1,100mの道路改良</p> <p>道路改良 L=1,100m W=6.5(11.5)m</p> <p>幅員 車道 5.0~6.0m → 6.5m ~9.25m</p> <p>歩道 0.0~2.0m → 3.0m (片側)</p> <p>橋梁架替 L=407m W=6.5(11.0)m</p>						<p>凡例</p> <p>— 事後評価箇所</p>					

2.評価シート(1)

(1) 事業貢献度

〈良〉・不良〉

(理由)

本事業の実施により、浅原橋の安全性が確保され、第二次緊急輸送道路としての防災機能の向上が図られるとともに、アプローチ部の交差点改良により、交通渋滞が改善され、南アルプス市と甲府都市圏域とのアクセス性が向上した。

①主要目標 災害に強い道路の確保

指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等
危険度(橋梁等)	耐震未補強	すべて解消
損傷度等(橋梁等)	対策区分C相当	損傷なし
緊急輸送道路の指定	第二次緊急輸送道路	第二次緊急輸送道路
自動車交通量	14,889台/12h ※1	12,542台/12h ※2

※1 H17センサス ※2 R3センサス

□評価

橋梁の架け替えにより橋の耐震性が確保され、第二次緊急輸送道路としての機能強化が図られた。なお、自動車交通量は、平成20年度全線供用の新山梨環状道路南部区間の影響により減少しているが、県管理道路の平均値(3,340台/12h)を大幅に上回っており、事業貢献度は高い。

②副次目標 生活圏中心都市のアクセス向上

指標	事業着手時点数値等	事後評価時点数値等
混雑時走行速度	24.5km/h ※1	27.7km/h ※2
自動車交通量	14,889台/12h ※1	12,542台/12h ※2

※1 H17センサス ※2 R3センサス

□評価

架け替えに併せて、アプローチ部の交差点改良(付加車線の設置)を実施したことにより、交通渋滞が改善され、東花輪駅等の拠点施設へのアクセスの円滑化が図られた。

③副次効果

項目	内容
アクセス機能の維持	通行止めによる迂回に2倍以上の時間が必要となる道路の解消
主要渋滞ポイントの解消	「浅原橋東詰」交差点の大幅な混雑解消

④その他の事業効果の発現状況

なし

(2) 費用対効果分析の算定基礎となった要因等の変化

〈有〉・無〉

項目	着手時点	再評価時点	事後評価時点
総事業費	百万円	百万円	百万円
工期	~	~	~
評価基準年			
費用	百万円	百万円	百万円
	建設費	百万円	百万円
	維持管理費	百万円	百万円
	その他()	百万円	百万円
	百万円	百万円	百万円
便益	百万円	百万円	百万円
	その他	百万円	百万円
B/C※			

※老朽化した橋梁の架替え事業のため、不算出。

(3) 事業実施による環境の変化

①自然環境への影響

河川を阻害している橋脚数の減少により、治水安全度が向上した。

②生活・居住環境等への影響

幅広歩道が整備されたことにより、通勤・通学などで周辺住民に利用されている。

③環境保全対策の効果発現状況(措置を講じた場合)

なし

(4) 社会経済情勢の変化が事業に及ぼした影響

①社会経済状況の変化

なし

②関連計画・関連事業の状況の変化

なし

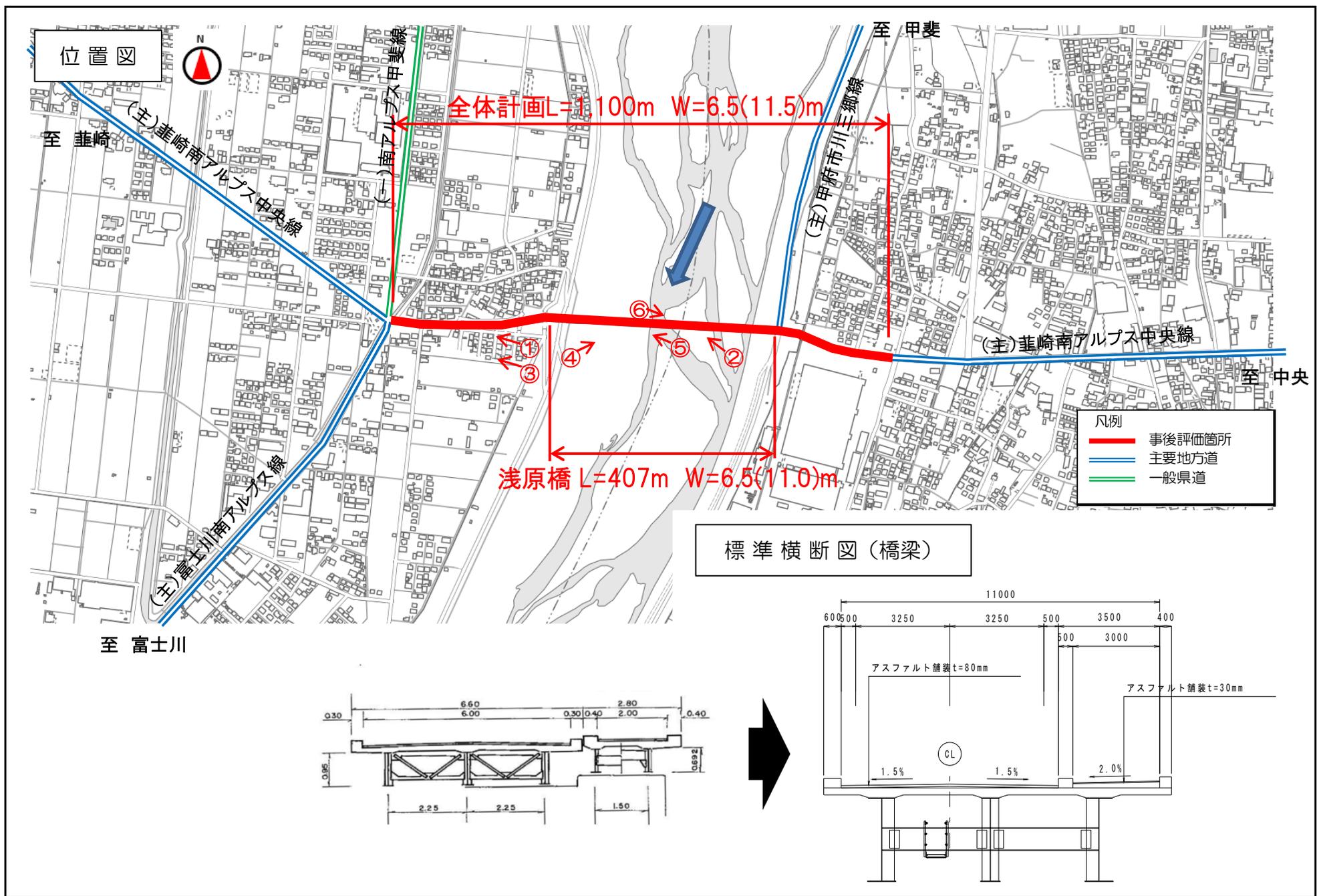
③事業環境等の変化

なし

評価シート（2）

<p>(5) 今後の事後評価の必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <p>評価シート（1）により、評価時点において通行車両の安全性向上や円滑な交通が確保されることが確認でき、所期の目標が達成されたため、今後の事後評価は必要ないと思われる。</p>	<p>(7) 同種事業の計画・調査のあり方の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <p>なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>なし</p>
<p>(6) 本事業における改善措置の必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <p>なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>なし</p>	<p>(8) 事業評価手法の見直しの必要性 〈有・無〉</p> <p>(理由)</p> <p>なし</p> <p>(具体的反映策)</p> <p>なし</p>
<p>(既に実施した改善策の内容と効果)</p> <p>なし</p>	<p>(9) その他特筆すべき事項 〈有・無〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南アルプス市と甲府都市圏域の交通の安全性が確保され、通勤・通学など、生活の利便性が向上するとともに、第2次緊急輸送道路としての機能強化も図られた。 ・浅原橋架け替えによるアクセス性向上から、沿線地域への企業立地の増加やそれによる当該地域の雇用創出や産業振興が期待されている。

3. 添付資料シート (1)



3. 添付資料シート (2)



3.添付資料シート(2)

